



9月7日 発行

**図書委員 お薦めの本**

「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」

汐見 夏衛



高2の茜は、誰からも信頼される優等生。しかし、隣の席の青磁にだけは「嫌いだ」と言われてしまう。茜とは正反対に、自分の気持ちをはっきり言う青磁のことが苦手だったが、茜を救ってくれたのは、そんな彼だった。

「言いたいことあるなら言っていんだ。俺が聞いてやる」実は茜には、優等生を演じる理由があった。そして彼もまた、ある秘密を抱えていて…。

青磁の秘密と、タイトルの意味を知るとき、温かな涙があふれるー。

「満月珈琲店の星詠み」

望月 麻衣



満月の夜にだけ開く不思議な珈琲店。優しい猫店主が、極上のコーヒーとスイーツ、そして占星術で運命を読む「星詠み」で疲れた人々をおもてなしする。

表紙に惹かれ、購入。占星術で自分自身を知ることで、自分に向き合い踏み出せる本でした。悩みがある人は、珈琲とともに読んでみてはどうでしょうか。

担当 35HR 図書委員

**新学期に読みたい一冊**

「余命3000文字」

小学館文庫 村崎ぎやてい



「大変申し上げにくいのですが、あなたの余命はあと3000文字きっかりです」冗談のようなアイデアで始まり、シンプルなメッセージで終わる短編集です。

2、3分で読めてインパクトが強いお話ばかり！

「世にも奇妙な物語」の元ネタになった話も収録されています。新学期のお供にぴったりな本です。

高校卒業前に徹夜で80km歩く「歩行祭」のお話です。青春群像劇が得意な恩田陸さんは、ただ歩くだけのイベントを長編ドラマにして面白く描きます。

担当 36HR 図書委員

「夜のピクニック」

新潮文庫 恩田 陸



担当 21・22HR 図書委員

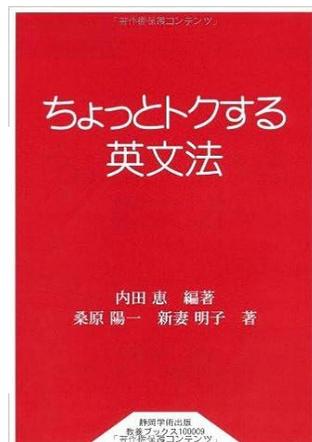
**4月に着任された先生方のお薦めの1冊！**

★高野航希先生

「ちょっとトクする英文法」

英語には「英語学」という世界がある。学校で英文法を学ぶ時、なぜその構造なのか？まで習うことは少ない。

本書では、英文法に関する「ちょっとトクする」知識を、高校生でもわかりやすく紹



★中山侑香先生

「ビブリア古書堂の事件手帖」  
(シリーズ)

著者 三上延 メディアワークス

色々な本にまつわる謎や秘密を古本屋の店長と店員が解き明かしていく物語です。有名な作品に関するエピソードもあり、楽しくその本について知ることができます。登場人物も個性豊かで魅力があり、面白いです。

その他にも、「英語学を学ぼう」高橋勝忠/著 開拓社  
「日本人の英語」マーク・ピーターセン/著  
ぜび北高生に読んでほしい本です！！

その他にも、「世界から猫が消えたなら」川村元気/著 小学館  
「神様のカルテ」夏川草介/著 小学館